

しまだ小学校敷地における液状化の可能性について

名古屋市教育委員会事務局総務部
教育環境計画室

◎しまだ小学校敷地内において、地盤調査（液状化判定など）を実施

調査時期：令和 3 年 5 月 24 日～5 月 26 日（現地調査作業期間）

調査内容：機械ボーリングφ66mm 20m×1か所

【調査位置】

調査位置の選定にあたっては、小学校敷地東側部分が、「あなたの街の地震ハザードマップ 天白区版」の液状化発生の可能性が高いと想定されるレッド部分（図①）と、土地条件図〔国土地理院 HP 公開〕の明治期の湿地帯部分（図②）と概ね重なっているエリアにあたることから、液状化判定のための調査位置とした。

実際のボーリング位置は、小学校敷地東側部分に位置しており、現地確認のうえボーリング調査が可能であった現体育館付近で行った。

(図①)



(図②)



明治期の湿地帯(水色：湖沼、灰色：湿地) 国土地理院 HP

○：調査地

【調査結果】

今回のボーリング調査（標準貫入試験、土質試験など）で得られた試験結果を用い、液状化発生に対する安全率（液状化抵抗率）FL の計算を行った。

計算で求めた FL の値が 1 より大きくなる地層については液状化発生の可能性はないものと判定される。結果として、今回の調査ではすべての判定層（計算結果 FL=1.584～1.627）で FL>1 となり、設定地震動（地震想定規模：マグニチュード 7.5）において、液状化の可能性は無いとの判定結果。

【今後の方針】

当該調査は、現時点で調査が可能な 1 か所で実施したものである。

新校舎を建設する際には、配置計画と並行する形で、適切な位置／箇所を選定し、更なる地盤調査を行い、新校舎の基礎構造設計に反映していく方針である。